

潰瘍性大腸炎治療薬 エンタイビオ

武田薬品は、潰瘍性大腸炎治療剤「エンタイビオ(R)」(一般名：ベドリズマブ)について、厚生労働省より中等症から重症の活動期の潰瘍性大腸炎に対する治療剤として、製造販売承認を取得したことを発表しました。



中等症から重症の潰瘍性大腸炎患者 895 名を対象に、ベドリズマブの有効性、安全性を評価した GEMINI I 試験の結果、良好な成績を示しました。



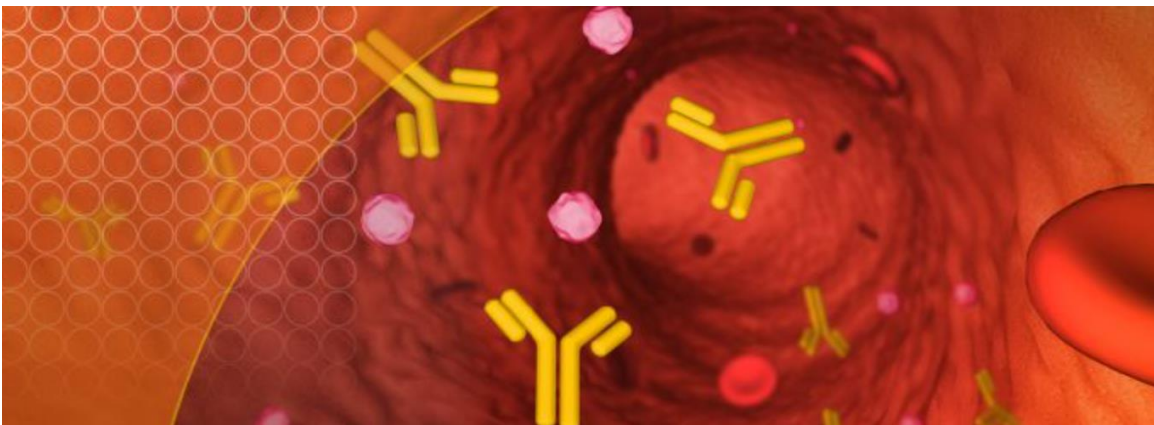
エンタイビオは、標準療法または抗 TNF α 抗体による治療に対し、効果不十分、効果減弱、もしくは不耐性である中等症から重症の活動期潰瘍性大腸炎およびクローン病に対する治療薬として、2014 年 5 月より欧州および米国にて使用されています。

----- 補 足 -----

エンタイビオは、中等症から重症の潰瘍性大腸炎またはクローン病に対する治療薬として、現在 60 カ国以上の国で承認を取得しています。

潰瘍性大腸炎は、炎症性細胞の大腸粘膜への浸潤が増加し、これらの炎症性細胞の存在によって潰瘍性大腸炎に特徴的な炎症性反応が引き起こされます。

本薬は、炎症を起こしている腸管組織に炎症性細胞の一種である T リンパ球の遊走を阻害することで、炎症を軽減するようデザインされています。



細胞接着分子である MAdCAM-1 は腸管の血管内皮に選択的に発現しており、一方 $\alpha 4 \beta 7$ インテグリンは循環血液中のある種の白血球サブセットに発現しています。本薬は、 $\alpha 4 \beta 7$ インテグリンに特異的に結合し、 $\alpha 4 \beta 7$ インテグリンと MAdCAM-1 との相互作用を阻害することにより、炎症を起こした腸管組織への T リンパ球の遊走を抑制し、炎症を軽減します。

